

<b>Course number</b>		U-LAS15 10006 LJ58					
<b>Course title (and course title in English)</b>		地球科学入門 - ダイナミクス Introduction to Earth Science -Dynamics		<b>Instructor's name, job title, and department of affiliation</b>		Graduate School of Human and Environmental Studies Associate Professor,KATOU MAMORU Graduate School of Human and Environmental Studies Professor,KOGISO TETSU Disaster Prevention Research Institute Professor,OOMI SHIROU	
<b>Group</b>		Natural Sciences		<b>Field(Classification)</b>		Earth Science(Foundations)	
<b>Language of instruction</b>		Japanese		<b>Old group</b>		Group B	
<b>Number of weekly time blocks</b>		1		<b>Class style</b>		Lecture (Face-to-face course)	
<b>Year/semesters</b>		2025・Second semester		<b>Number of credits</b>		2	
<b>Days and periods</b>		Mon.4		<b>Target year</b>		All students	
<b>Eligible students</b>		For liberal arts students					
<b>[Overview and purpose of the course]</b>							
<p>私たちが住んでいる地球ではさまざまな自然現象が起きている。科学的な視点からこれらの現象を整理して理解することを目指す。主に固体地球の現象を扱う。長い歴史を経て現在の地球が存在すること、私たちの周辺で起きる自然現象はその歴史の延長線上にあることを意識する機会となればよいと考えている。</p>							
<b>[Course objectives]</b>							
<p>地球科学の話題がニュースなどで出たときにそれをただしく理解するための基礎力をつける。地球と私たちの関係を考える視点に持つ。アカデミックな文章を正確に書けるようになる。</p>							
<b>[Course schedule and contents)]</b>							
<p>以下のテーマについて、フィードバックを含め全15回で、それぞれ1-3回の予定で授業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地球科学とは（加藤）</li> <li>・地球の形、地球内部の構造と現象（加藤）</li> <li>・プレートテクトニクス・地震・津波・火山（加藤）</li> <li>・日本の歴史と自然災害（加藤）</li> <li>・地球の歴史、地球の物質（小木曽）</li> <li>・人間と社会と地球の関係（大見）</li> </ul> <p>学期内に発生した自然現象や履修者のフィードバックを反映させて内容を修正することがある。また順番は前後することがある。</p>							
<b>[Course requirements]</b>							
<p>高校において地学基礎・地学、物理基礎・物理や化学基礎・化学の履修経験がない学生でも理解できるように講義を進める。授業中必要になる知識については、自学自習を求める。</p>							
<b>[Evaluation methods and policy]</b>							
<p>数回のレポートにより評価する。詳細は初回授業で伝える。</p>							
<b>[Textbooks]</b>							
Not used							
<div style="text-align: right;">Continue to 地球科学入門 - ダイナミクス(2)</div>							

## 地球科学入門 - ダイナミクス(2)

### [References, etc.]

( References, etc. )

Introduced during class

### [Study outside of class (preparation and review)]

大学レベルの数学や理科を前提とはしないが各自が必要に応じて必要に応じて自習することがよい。各自の関心に合わせて野外を歩いてみる、学外の施設を見学してみる、などをお勧めする。レポート課題には授業外の活動を必要とするものが含まれる予定である。

### [Other information (office hours, etc.)]

授業内容の一部は全学共通科目の他の地球科学の文系向や理系向科目と重複する。複数教員によるリレー講義であるが詳細な日程については初回の授業日に情報を共有する。